

キャリア教育実践モデルの項目と内容

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年

教科・領域

単元・題材等

単元・題材等：大単元、中単元、小単元名、または、内容を表す名称
単元・題材等の目標：その単元・題材等の学習で目指す目標やねらい

単元・題材等の目標

○活用できる学校外の人材と内容等

上段：活用できる学校外の人材
下段：活用場所、活用内容

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度
*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

『職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）』（国立教育政策研究所生徒指導研究センター 平成14年11月）に示されている「職業的（進路）発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度」を参考にして取り扱う単元・題材等の学習全体を通して育成が期待できると考える具体的な能力・態度

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連

同学年の「同教科・領域」「他教科・領域」の単元・題材との関連性
※複数学年にわたる目標・内容が示されている教科・領域については、当該学年における関連ある単元・題材等を示した

○学校外の人材を活用するポイント

学校外の人材を活用する前の指導、活用時の指導、活用後の指導の各段階における取組のポイントや留意事項等
※本単元・題材等の学習に入る前や学習後の取組の中での配慮事項を加えたものもある

○学校外の人材を活用する指導の流れ

指導計画に位置付けた学校外の人材を活用する各指導段階（原則として、活用前、活用時、活用後の指導）ごとの指導の流れ

◇指導計画（①、②、③・・・で表記）

※指導計画が示されていない指導段階は、キャリア教育として機能するために必要だと思われる指導内容を記した

◇各指導段階ごとの展開例

◇キャリア教育の視点を踏まえての評価の観点